

ジャパンクラブ NEWS LETTER

Japan Club : 1759 Sutter Street #203, San Francisco, CA 94115 • Tel: 415-931-9424 • www.jpclub.org • jc-sf@sbcglobal.net

12月度理事会議事録

23名が参加して米国赤十字社による「一般災害対策講習会」開催 「防災グッズ」の会員への無料配布

ジャパンクラブ12月度理事会は12月5日(土曜)3:00より、今回は場所を変えてジャパンセンター内ユニオンバンク社交室において、災害対策講習会終了後、引き続き10名の理事の出席で開かれました。

1) 米国赤十字社に於ける「講習会」報告

12月5日、理事会に先立って午後1時よりジャパントウン・ユニオンバンク社交室において開催、細かい点の評価は今後改めてする事になりますが、初めての試みとしては23名の参加のもと巧くいったと思います。領事館からは小川康弘領事も参加してくださいました。「防災グッズ」は出席者にはその場で配布され、出席出来なかった会員のものには各緊急連絡網の地域担当の会員にお預けしました、まだ受け取っていない方は貴方の地域担当者に連絡を取ってください。

2) 餅つき新年会

全内容を細かく検討、それぞれの役割、準備する物などを各担当者を決めて依頼する。先にご案内した通りエンターテナーにバイエリアで良く知られているピアニストの長部正太さん、素晴らしい演奏が楽しみです。会員の方はもとよりお友達等を誘って是非参加して下さい、そして最近では珍しい「杵と臼」での餅つきを経験して新年を祝いましょう。

3) 全会員名簿の配布に関連した議題

全会員名簿の配布とその利用条件等について、会員同志の連絡や相互扶助の一環としての利用以外にもう少し拡大した利用が考えられないか(例:ビジネスをしている会員がその紹介に使えるか?)などの提案について理事会と別に小委員会をもうけて検討する事になりました。この小委員会に参加したい会員の方は事務局迄お知らせください。

お詫び: SF-1グループのウォルッシュ文子さんのお名前が全体リストから漏れておりました事をお詫びいたします。(尚 SF-1グループ 緊急連絡網のリストには記載されております) SF-1グループ外の会員でウォルッシュさんに連絡の必要な方は事務局迄お問い合わせください。

4) その他

1. 今月号のニュースレターに
 - ・「餅つき新年会」の参加申込書 及び
 - ・2010年度の継続及び新規会員の為の会費納入カードが同封されています、それぞれ期限迄にご連絡ください。
2. 先月号のニュースレターに同好会の案内を載せましたが、さっそく赤川稔さんから「旅行を楽しむ会」(仮称)の提案がありました、この話を聞き古田紘一さんも参加を表明、具体的な方法をこれから話し合う事になりました。興味のある方は赤川さん(510-517-6407)又は事務局迄ご連絡ください。決して難しい事を考えず気楽に、気楽な旅行「別に遠くへ行く事や、海外旅行など大きな事を考えず、出来そうな所から始められたら良いですね」
3. 赤十字社の講習会の会場に会員の又吉康治さんから沢山のレンダーの寄付がありました、参加した皆さんにお配りしました、有難うございました。

次回理事会は、2010年1月6日(水) 6:30より(場所変更の予定、要問い合わせ)
12月1日現在会員数は65名です。

風邪の季節になりました、今年はさらに SWINE FLU の流行が懸念されています、ワクチンの準備もだいぶ進んでいるようです、希望される方は一度か掛り付けのドクターに問い合わせてみてください。

外出から帰った時は、少なくともうがいと手洗いには心がけましょう。元気で新しい年を迎えましょう。

講習会「地震と共に暮らす」概要報告

12月5日(土)午後1時から約1時間半にわたって開かれた米国赤十字社による講習会「地震と共に暮らす」は23名の参加者で開かれました、概要をお知らせします。

講師は米国赤十字社アジアコミュニティ担当ディレクターの Michael Wong さんと日本語での説明をくださった長江美月さんのお二人で、配布された資料とスライド映像によって1989年のサンフランシスコ地震(Loma Prieta 地震)等を振り返りながら基本的な3つのステップ

1) 計画を立てる 2) 防災グッズを用意する 3) 事前に知識を身につけるに従ってそれぞれ説明がありました

1) 計画を立てる

USGS (アメリカ地質調査所) によれば、ここベイエリアで2032年迄にマグニチュード6-7の地震のおこる確立が62%も有ると云われています、決して先延ばしせず今から避難方法、避難場所、お互いの連絡方法など計画を立てる事が大事です。

2) 防災グッズを用意する

今回配布した「防災グッズ」を一度開いてみてください、これだけでは決して十分ではないでしょう、しかしこれを契機にいと云う時の準備を考えるきっかけにして下さい、残念ながら大災害時は外部の助けはすくには期待出来ません、最低限の用意は必要です。

3) 事前に知識を身につける

今回の講習会の内容は決して目新しい物ばかりではありません、このような簡単な事でも繰り返し話を聞き、自分でも試してみる事で本当の知識となります、又この様な機会を作りたいと思います。

この後、質疑や意見等が会員から出されました、この中で重要な書類等をペーパーコピーやフラッシュメモリー (flash memory) 等にして別途保管しておくことと災害後の種々の手続きに大変便利との意見が有りました、また「Drop Cover & Hold On」と云う基本動作の中で机等の丈夫な物の下に身を隠すと云う事が一般的に云われているがはたして常にそれで良いのか?もし机の下に空間が出来て助かったとしても閉じ込められた状態で火が発生したら?等の質問も出ました。皆さんはどう思いますか? これからも具体的な問題を提起して話し合っ行って行きたいと思います。

先日皆様にお配りした「防災グッズ」の中身を紹介します



① ショルダーバック型非常持ち出し用「防災グッズ」ケース、いざと云う時にすぐ持ち出せる所に置いてください、ふたの裏に今月の日付を記入しておくこと内容更新時の確認等に便利です。

② 緊急時の水の保管容器 2.5 ガロン入りです。
③ インスタント・カイロ、パッケージを開けて空気に触れさせるだけで暖まります。(注意書きを見てください)

④ 非常を知らせる連絡等に使える笛。
⑤ 緊急時の飲み水、3パック入り。(消費期限等注意書きを見てください、この他に水は1人1日1ガロンを準備しておく事をお勧めします)

⑥ 緊急時用「雨合羽」目立ち易い黄色で救助隊の目にもつき易い。
⑦ 緊急時用ブランケット、軽く、保温性も高く雨水等も防ぐ。
⑧ ティッシュ・ペーパー。
⑨ サニタリー・ナプキン。
⑩ 緊急時の合図用ライト・スティック、袋から取り出して使用します。(使用期限、使用方法等注意書きを見てください)
⑪ 絆創膏、消毒用ティッシュ等。
⑫ 2400カロリーの緊急時用非常食バー。(消費期限等注意書きを見てください)
⑬ Dサイズの乾電池2本(懐中電灯用)電池の寿命を時々チェックしてください。
⑭ 懐中電灯、電池は使用時まで別にして保管、中に入れたままにしておくこと液漏れや故障の原因になります。

まだ受け取っていない会員の方は緊急連絡網の地域の担当者までご連絡ください。
(ご夫婦会員用はこれと同様な物が懐中電灯等を除いてほぼ倍量がリックサック型に入っています)

皆様も既にご存知の通り、9月の日米タイムズ紙に続いて11月末をもって北米毎日新聞もその発行を終わりました。これにより私達の情報入手の手段は又一段と少なくなりました。大事な情報の一つとしてサンフランシスコ日本国総領事館から出されるものがあります、その入手方法をもう一度確認していただきました。

領事館からの情報を得る方法について 小川康弘領事から説明をいただきました

在サンフランシスコ日本国総領事館で領事班長を務める小川康弘です。
ジャパクラブから私に対し、当総領事館が在留邦人の皆様に対し発信する情報にアクセスするための方法について案内してほしい旨の御依頼がございましたので、おさらいのために、次のとおり説明申し上げます。

1. 24時間、いつでも詳細な情報を得ることができるという観点でいえば、当館のホームページ(<http://www.sf.us.emb-japan.go.jp/top.htm>)を御覧いただくことが最適です。同ホームページには、領事出張サービスの実施予定や安全対策といった領事事務に関する情報はもちろん、広報文化関係や当館に関連する行事に加え、フォトギャラリーでは長嶺総領事の対外活動について写真付きでの報告を掲載しています(古い情報については、同画面右側の「アーカイブ・過去のお知らせ」をクリックしてください)。

2. 次に、パソコンをお持ちの方は、当館の「緊急メール配信サービス」に御登録いただければ、当館が随時送信する緊急連絡を受信することができます(登録方法は、当館ホームページ画面右側の「緊急メール登録」をクリックしてください)。

3. また、パソコンをお持ちでない方は、サンフランシスコ・ラジオ毎日(周波数はAM1450)で、毎月第一土曜日の19:00台の放送において長嶺総領事のインタビューが放送されており、新型インフルエンザや在外選挙など、そのときどきのトピックについてお話をいただいています。

4. さらに、自然災害や大規模な事件・事故が発生した場合で、皆様方に緊急に御連絡する必要が生じた際は、上記のほか、在留届に記載いただいたメールアドレスへの一斉送信、個人個人への電話連絡、全米・カナダ邦人安否確認システムの稼働等、いろいろな情報伝達手段を駆使することとしております。

追伸: 私はこの1年、ジャパクラブのいろいろな行事に顔を出させていただき、会員の皆様方との交流を深めることができました。今後とも引き続き、よろしく御願い申し上げます。
最近急に寒くなりましたので、御健康に一層御留意されて新年をお迎えください。

具体的なご質問等がありましたらジャパクラブ事務局までお問い合わせください